



府連通信

2026年7月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0012
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:info@jcfaosaka.org
 ホームページ
<http://jcfaosaka.org/>

沖縄日中大会3名が発言

日本中国友好協会第75回全国大会を6月6日7日の2日間、オンライン参加の併「台湾有事」で大軍拡の最前線となつている沖縄那覇市で開催。参加、ZOOM参加今大会は前大会からの活動を、は4か所5名、発言まとめ、新年度の方針を定め、は3名でした。運動を推進していく新たな役員、大会特別号は、大体制を決めるための討議を行いました。会での発言や感想をまとめて掲載します。

西支部 山本範枝 関西の女性交流会

大会議案の組織強化女性の活動について発言します。一つ目は大阪府連女性部の活動についてです。女性部は楽しく交流することを大切にしています。中国百科検定テスト楽しく学ぶ学習会を2ヶ月ごとに開いています。昨年からは「ラブリイ中国古典編」でハッピー！漢詩、ナイス！故事成語、エンジョイ！物語と学びました。参加者からの感想を紹介します。「普段何気なく使っている言葉が中国が由来と知り、楽しくなりました。」「子どもに人気の西遊記が実は大人向けであったことを初めて知りました。ゆっくり読みたいと思いました。」恒例行事の新春歌声喫茶も好評です。「懐かしい歌をピアノの伴奏でみんなで歌えて楽しかった。」「中国映画を観る会も計画します。学習会や行事には男女問わず誰でも参加を呼びかけ、会員外の参加も増えています。日中の会員になったり、中国百科検定の受験につながっています。今京都の交流会では盧溝橋事件30周年の1977年に、再び戦争をしないと誓い市民力で建立された日中不再戦碑の歴史を学びました。「日中友好のシンボルの碑を見学できたことは大きな意義がある。」「幅広いメンバーでの交流は初めてなのでとてもよかった。」などの感想が寄せられました。「関西ブロック女性交流会」の事務局を大阪府連におき、今後も各府県連・支部持ち回りで開催していきたいと思ひます。合言葉は楽しく交流、文化行事、美味しいものを。男性にも気軽に声をかけ、協力を呼びかけることが大切です。女性ならではの視点やきめ細やかさで楽しい取り組みを考えていきたいと思います。(発言通告から)

盛り上がった女性交流会 首里城や対馬丸記念館を見学

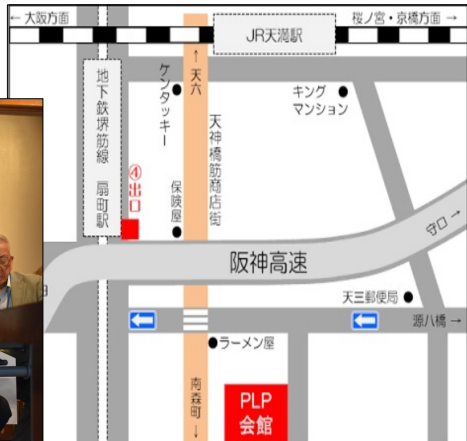
沖縄で初めて開催された全国大会。沖縄支部長で琉球大学の山上先生のオンラインも含めて160名を超え、解説で首里城の地下に旧日本軍の司令部がおかれていたと聞きました。参加者で画期的な大会となりました。全国女性交流会も盛り上がり良い交流ができました。2日間の発言では、若者らしい視点の発言がよかったです。また大阪からの2名の女性の発言(府連女性部と中国百科検定)を誇らしい思いで聞きました。東京から参加の102歳の女性と、耳が少し遠いようで娘さん持参のホワイトボードでの会話で交流できました。3日目のエクスカーショ



ンで首里城、対馬丸記念館、福州園を見学するコースに参加しました。1945年5月末、爆破された司令部壕は非公開とされていましたが、沖縄戦跡として初めて県指定史跡に指定。崩落対策や調査が進められ、一般見学に向けた整備が進んでいるとのこと。沖縄戦跡は後世に残すことが大事だと改めて思いました。(感想) (女性部 堺支部 浅田美奈子)

吹田支部 高田佳誉子 女性交流会での河合さんのスピーチが良かった

ZOOMで参加しました。言う。大会後の全国女性交流会が良かった。初めに笑いヨガで心と体を解きほぐし「新します」と言う。「死に行け」い日中のオープン」と参加者が挨拶を交わす場面に私も居たかったです。城北支部の河合さんが女性の輪に溶け込みスピーチもさくれて、女性委員会を励まして代議員に発言の時間が保証されました。河合さんのスピーチは、社会的に生き方を規定されることとに敏感に反応している女性で、代議員も発言を歓迎するものでした。本部高市首相は女性の賃金が男性の6割しかないのを是正しない、食べるのにも苦しい人がもっと働けるように、「働き方改革」とヌケヌケと



大阪府連大会 PLP 会館
7月12日1時半



中国残留邦人帰国者二世の

人達と共に 城北支部 河合利明

私達大阪府連城北支部の中国語サークルのメンバーが、ひまわり合唱団に参加するようになったから2年あまりです。

ひまわり合唱団は中国残留邦人帰国者二世が集まって4年程前に大阪市の東北部で結成されました。メンバーは全部で40〜50人が参加し、年齢は50〜60歳が中心、女性が比較的多数です。

中国語の歌を中心に月1回の合同練習をベースにして周辺各地の催しで発表しています。さらに他団体との交流や観光、見学等リクレーションも頻繁で親睦を深めています。コミュニケーションは全て中国語です。日本語は日本出身者に対してだけ使います。

生まれた時から母親の声を聞き取って言葉を覚え、つまり中国語を母語として育ち、さらに中年以降に日本に帰国した彼女らにとつて日本語習得のハードルが高いことは誰にでも分かれます。そして帰国後には就労など生活全般に大変苦勞し、現在も生活保護に頼らざるをえないケースが多いのです。

しかし、その事は彼女らの責任では決してありません。もし政府や自治体の適切な支援がその時にあり、さらにもし日中の関係が日中国交回復の時のように良好で緊密であれば、彼女らが日中友好の架け橋となつて活躍出来る場が広がり、今よりずっと安定した生活が可能で

あつたかも知れません。

私が言いたいのは彼女彼らが侵略戦争や棄民など誤った日本の国策の被害者だという事は、過去の出来事ではなく現在進行形で続いているという事です。

日本政府はかつての植民地支配や侵略戦争の誤りを認めず、内外の犠牲者、被害者への謝罪や補償はもう済んだ、これ以上不要であると述べて、高市政権になってからは中国を最大の敵に仕立てて従来にない大軍拡や戦争準備を急速に進めています。

極端な排外主義の横行や中国に対する剥き出しの憎悪が煽られている状況で、今後ますますそんな動きが強まるのが懸念されます。そんな中で今、日中双方にルーツを持つ彼女彼らは、彼らみんなの身体を引き裂かれる想いで見ているのではないのでしょうか？

最後に日本国憲法の前文には「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こることがないようにする事を決意し、ここに主権が国民に存する事を宣言し、この憲法を確定する」と書かれています。主権者は彼女彼らであり私達です。

本来その使用人である政府に過去から犯した誤りを認めさせて謝罪と補償を行なわせること、そして彼女彼らに対して一世と同様の法的支援を行わさせることが私達の急務です。一度と誤つた戦争を行なわせないために。(発言通告から)

百科検定委員会の取り組みから

感じたことと期待 高田佳誓子

議案書で、百科検定の一般会場での受験者数の伸び悩み、そこでの初級受験者の減少が課題となつている、と書かれていました。

大阪府連でも宣伝を大に行なうことが大切だと考え、「日中友好新聞」へのリーフレットの折り込み、府連通信や府連行事での受験呼びかけを行なっています。

大阪府連の百科検定委員会には各支部からの委員が、支部での受験促進を継続的に行なっています。例えば、城北支部は受験を広く呼びかける受験促進講座や、懇親会で会員のつながりを大切に、仲間と楽しく学んでいきます。大阪西支部は一人ひとりの受験者に寄り添った

個人指導が特徴です。支部の努力で毎回、東京に次ぐ受験申込者がありました。第18回検定では初級はゼロ、第19回検定でも5月29日現在で3級4人、2級1人です。そのうち会員は2人、中友好新聞へのリーフレットの折り込み、府連通信や府連行事での受験呼びかけを行なっています。これから受験者数は減っていくばかりです。

大阪府下の中国語教室や、つなぐりのある団体などにもポスター、パンフレットを届けています。ですが受験に結びつきません。中国語教室は数が減り続け、以前は40校くらいに案内を郵送していましたが、宛先不明で戻つて来る数が増え、今回は14校に留まりました。教室の形態も、事務所を持って運営しているところも少なく、個人で開いている教室やオンライン講義が中心の教室などが多いように感じます。働き方の変化により、一定の時間に教室に行けない人も多く、日本人より中国人の学生がほとんどという教室もたくさんあります。

受験の呼びかけを行なう中で、百科検定に魅力を感じていただけないのはなぜだろうと考えています。今後は、学生を中心に、准会場を増やすしかないのではとも思います。

百科検定に対する私の個人的な意見です。日本政府の中国に対する侵略戦争の歴史を教訓とする日本人の多くは、日本が中国人に対してどれほどひどいことをしたのか、加害の真実を深く学んでいます。日本人にとつて必要なことではありませんが、さらに友好を深めるには、百科検定に出てくる知識が必要ではないでしょうか。「理解は絆を

カレンダー学習会

大阪西支部 平松悦雄

大阪西支部は本部組織5原則にもとづいて毎月ニュースを発行しHPも支部として作成しています。太極拳は毎週、それ以外にも毎月行事を計画して実行しています。コロナ禍以降協会のカレンダー学習会、それをパワーポイント作成しました。一カ月5コマほど作成して全部で60コマつくりました。

以前西支部所属で中国旅行によく行かれていたと聞いていましたので、講師にお願いしました。豊富な中国旅行の話の順次

たような勉強も出来好評のうちにもとづいて毎月ニュースを発行しHPも支部として作成しています。太極拳は毎週、それ以外にも毎月行事を計画して実行しています。コロナ禍以降協会のカレンダー学習会、それをパワーポイント作成しました。一カ月5コマほど作成して全部で60コマつくりました。

「他者を知ることは自分を知ること」という意味です。他者を知るとは、その文化、歴史を知ることだと思います。

たとえば、中国の民衆が愛した物語や詩、季節の行事などを。名所旧跡や民族を知る。どんなふうな経済成長してきたのかを知る。そういう知識が友好を深めると思っています。こういう文化を持った中国人に対して、日本は何をしたのか、よりはつきりと見えてきます。

歴史は過去だけではなく、現在、未来につながっています。中国百科検定はそれを気づかせてくれると思います。過去に日本が中国に過ちを犯したのは、中国のことをきちんと知らなかったことも関係していると思います。今の私たちにも「知らなかった」ということがあるかも知れません。もう一度百科検定で学んでみませんか(発言通告から)

いいんかなあとと思うようなもので、大阪西支部では合格者述べ60名を超えています。

単なるカレンダーですが、これは販売すればするほど本部・都道府県連・支部と財政が潤うようになっていきます。財政が潤い頭も潤うというシロモノです。最初の話から少し離れてしまいましたが本部組織5原則これを忠実に実行すれば組織も大きくなります。私が事務局長になって10年余で、当初30数名から現在80数名に、まもなく三桁です。

お願いしている講師の方もそのうちにお土産を持って来ていただけるようになりました。現地で拾ってきた瓦の破片、砂の中からみつけた石、万里の長城の壁崩れたモノ等、そんなもの

もう5年になります。最初は何かわからなかったけれど参加するたびに知識が増え楽しいと、その方現在では特級挑戦されています。講師は勿論百科博士でもあります。講師は勿論百科博士でもあります。(発言通告から)